

平成26年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	栃木県		市町村類型	中核市	指定団体等の指定状況		区分	平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分	平成26年度(千円・%)	平成25年度(千円・%)					
					財政健全化等	×							歳入総額	198,696,454	191,415,685	実質収支比率	4.4
市町村名	宇都宮市		地方交付税種地	1-6	財源超過	×	歳入総額	192,436,840	185,396,818	経常収支比率	90.4	90.8					
					首都	○	歳入歳出差引	6,259,614	6,018,867	(※1)	(94.7)	(96.5)					
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	1,763,861	1,522,483	標準財政規模	102,512,050	102,381,086					
					中部	×	実質収支	4,495,753	4,496,384	財政力指数	0.95	0.94					
人口	22年国調(人)	511,739	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	-631	279,910	公債費負担比率	12.8	14.0					
	17年国調(人)	502,396			過疎	×	積立金	26,309	296,394	健全化判断比率							
	増減率(%)	1.9			山振	×	繰上償還金	-	284,434	実質赤字比率	-	-					
住民基本台帳人口	27.01.01(人)	520,462	第1次	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	3,000,000	-	-	-					
	うち日本人(人)	512,963		5,534	7,320	指数表選定	○	実質単年度収支	-2,974,322	860,738	連結実質赤字比率	-	-				
	26.01.01(人)	518,878	第2次	26.1	26.1	標準財政収入額		基準財政収入額	71,450,167	69,481,285	資金不足比率(※4)						
	うち日本人(人)	511,706		58,661	63,626	基準財政需要額		基準財政需要額	74,582,966	73,260,687							
	増減率(%)	0.3	160,370	168,620	標準税収入額等		標準税収入額等	93,079,813	90,732,048								
	うち日本人(%)	0.2	71.4	69.0	経常経費充当一般財源等		経常経費充当一般財源等	96,815,429	95,042,065								
面積(km ²)	416.85			歳入一般財源等		歳入一般財源等	121,345,070	116,959,857									
人口密度(人/km ²)	1,228																
世帯数(世帯)	210,482																
職員の状況																	
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	120,966,596	123,489,598							
	市区町村長	1	11,092	一般職員	2,903	9,681,505	3,335	うち公的資金	72,943,113	76,180,516							
	副市区町村長	2	9,024	うち消防職員	455	1,550,185	3,407	債務負担行為額(支出予定額)	26,780,370	24,639,795							
	教育長	1	7,097	うち技能労務職員	149	491,849	3,301	収益事業収入	300,000	204,517							
	議会議長	1	8,000	教育公務員	51	198,747	3,897	土地開発基金現在高	2,712,468	2,700,928							
	議会副議長	1	7,100	臨時職員	-	-	-	積立金現在高	13,995,623	13,969,314							
	議会議員	45	6,700	合計	2,954	9,880,252	3,345	減債基金	7,523,171	8,620,152							
				ラスバイレス指数			101.1	その他特定目的基金	14,618,372	11,183,904							
一般会計等の一覧																	
項番	会計名	事業会計の一覧	項番	会計名	公営企業(法適)の一覧	項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧	項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧	項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧	項番	団体名	(※3)
(1)	一般会計	(10)	国民健康保険	(15)	水道事業	(18)	土地取得事業	(19)	栃木県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(24)	宇都宮市医療保健事業団						
(2)	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	(11)	介護保険	(16)	下水道事業			(20)	栃木県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	(25)	宇都宮市農業公社						
(3)	生活排水処理事業	(12)	後期高齢者医療	(17)	中央卸売市場事業			(21)	栃木県市町村総合事務組合(一般会計)	(26)	グリーントラストうつのみや						
(4)	都市開発資金事業	(13)	競輪					(22)	栃木県市町村総合事務組合(特別会計)	(27)	宇都宮市スポーツ振興財団						
(5)	鶴田第2土地区画整理事業	(14)	駐車場					(23)	宇都宮市街地開発組合	(28)	宇都宮市土地開発公社						
(6)	宇大東南部第1土地区画整理事業									(29)	うつのみや文化創造財団						
(7)	宇大東南部第2土地区画整理事業																
(8)	岡本駅西土地区画整理事業																
(9)	育英事業																

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補償(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	93,081,131	46.8	87,864,073	86.0	普通税	84,518,136	90.8	2,131,970
地方譲与税	1,214,101	0.6	1,214,101	1.2	法定普通税	84,518,136	90.8	2,131,970
利子割交付金	135,114	0.1	135,114	0.1	市町村民税	44,494,599	47.8	2,131,970
配当割交付金	563,097	0.3	563,097	0.6	個人均等割	861,127	0.9	-
株式等譲渡所得割交付金	307,274	0.2	307,274	0.3	所得割	30,583,161	32.9	-
地方消費税交付金	6,317,261	3.2	6,317,261	6.2	法人均等割	2,142,879	2.3	356,144
ゴルフ場利用税交付金	128,137	0.1	128,137	0.1	法人税割	10,907,432	11.7	1,775,826
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	35,128,383	37.7	-
自動車取得税交付金	186,996	0.1	186,996	0.2	うち純固定資産税	34,977,150	37.6	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	765,034	0.8	-
地方特例交付金	340,887	0.2	340,887	0.3	市町村たばこ税	4,130,097	4.4	-
地方交付税	5,494,525	2.8	4,534,647	4.4	鉱産税	23	0.0	-
普通交付税	4,534,647	2.3	4,534,647	4.4	特別土地保有税	-	-	-
特別交付税	504,313	0.3	-	-	法定外普通税	-	-	-
震災復興特別交付税	455,565	0.2	-	-	目的税	8,562,995	9.2	-
(一般財源計)	107,768,523	54.2	101,591,587	99.4	法定目的税	8,562,995	9.2	-
交通安全対策特別交付金	85,273	0.0	85,273	0.1	入湯税	23,580	0.0	-
分担金・負担金	2,033,979	1.0	-	-	事業所税	3,322,357	3.6	-
使用料	2,583,318	1.3	197,756	0.2	都市計画税	5,217,058	5.6	-
手数料	1,779,554	0.9	-	-	水利地益税等	-	-	-
国庫支出金	31,193,499	15.7	-	-	法定外目的税	-	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	126,265	0.1	126,265	0.1	旧法による税	-	-	-
都道府県支出金	9,351,798	4.7	-	-	合計	93,081,131	100.0	2,131,970
財産収入	735,670	0.4	189,187	0.2				
寄附金	168,270	0.1	-	-				
繰入金	4,910,518	2.5	-	-				
繰越金	3,018,867	1.5	-	-				
諸収入	22,914,220	11.5	1,528	0.0				
地方債	12,026,700	6.1	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	4,897,500	2.5	-	-				
歳入合計	198,696,454	100.0	102,191,596	100.0				

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	17,916,173	実質収支	214,597
下水道	5,316,163	再差引収支	-265,341
宅地造成	687,090	加入世帯数(世帯)	77,364
市場	128,813	被保険者数(人)	131,849
上水道	88,599	被保険者	95
国民健康保険	3,696,793	1人当り	93
その他	7,998,715	保険税(料)収入額	258
		国庫支出金	93
		保険給付費	258

歳入の状況(単位:千円・%)					
目的別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	944,578	0.5	-	944,464	
総務費	20,185,903	10.5	885,291	17,829,497	
民生費	67,734,022	35.2	1,568,578	32,384,767	
衛生費	13,367,166	6.9	1,705,924	10,392,292	
労働費	2,501,844	0.1	-	99,843	
農林水産業費	2,500,321	1.3	905,686	1,867,966	
商工費	21,611,899	11.2	321,968	1,552,702	
土木費	23,460,073	12.2	10,799,612	14,339,975	
消防費	5,224,127	2.7	542,447	4,861,325	
教育費	21,001,217	10.9	7,345,805	15,157,197	
災害復旧費	335,016	0.2	-	134,399	
公債費	15,870,674	8.2	-	15,521,029	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	192,436,840	100.0	24,075,311	115,085,456	

性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	92,481,220	48.1	59,806,319	59,292,949	55.4
人件費	30,448,472	15.8	28,348,934	27,838,634	26.0
うち職員給	19,601,163	10.2	18,724,243	-	-
扶助費	46,162,074	24.0	15,936,356	15,933,286	14.9
公債費	15,870,674	8.2	15,521,029	15,521,029	14.5
元利償還金	15,868,838	8.2	15,519,193	15,519,193	14.5
内 うち元金	14,549,702	7.6	14,231,555	14,231,555	13.3
訳 うち利子	1,319,136	0.7	1,287,638	1,287,638	1.2
一時借入金利子	1,836	0.0	1,836	1,836	0.0
その他の経費	75,545,293	39.3	47,157,566	37,522,480	35.0
物件費	23,424,254	12.2	19,605,367	18,679,058	17.4
維持補修費	2,037,909	1.1	1,679,547	1,679,547	1.6
補助費等	11,430,971	5.9	10,429,085	9,275,571	8.7
うち一部事務組合負担金	70,560	0.0	70,560	70,560	0.1
繰入金	12,851,010	6.7	10,798,060	7,859,899	7.3
積立金	4,232,147	2.2	3,940,427	-	-
投資・出資金・貸付金	21,569,002	11.2	705,080	28,405	0.0
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	24,410,327	12.7	8,121,571	-	-
うち人件費	932,431	0.5	924,858	-	-
普通建設事業費	24,075,311	12.5	7,987,172	-	-
うち補助	11,310,856	5.9	556,265	-	-
うち単独	12,713,039	6.6	7,403,491	-	-
災害復旧事業費	335,016	0.2	134,399	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	192,436,840	100.0	115,085,456	-	-

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

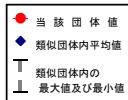
平成26年度 栃木県宇都宮市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	195,873	189,758	6,115	4,441	5,158	111,151	
2 母子父子寡婦福祉資金貸付事業	173	124	50	50	5	-	
3 生活排水処理事業	1,634	1,634	0	0	714	4,475	
4 都市開発資金事業	489	489	-	-	242	805	
5 鶴田第2土地区画整理事業	1,311	1,304	7	-	696	2,549	
6 宇大東南部第1土地区画整理事業	1,238	1,199	40	0	730	2,835	
7 宇大東南部第2土地区画整理事業	640	632	8	-	353	900	
8 岡本駅西土地区画整理事業	1,243	1,207	35	-	636	2,572	
9 育英事業	323	317	5	5	100	-	
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							

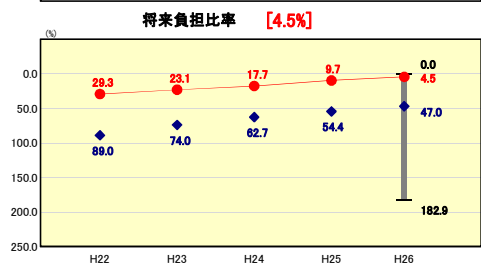
(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	520,462	人(H27.1.1現在)	実赤字比率	-	%
うち日本人	512,963	人(H27.1.1現在)	連結実赤字比率	-	%
面積	416.85	km ²	実公債費比率	5.6	%
歳入総額	198,696,454	千円	将来負担比率	4.5	%
歳出総額	192,436,840	千円	市町村類型	H22 中核市 H23 中核市 H24 中核市	
実収支	4,495,753	千円	(年度毎)	H25 中核市 H26 中核市	
標準財政規模	102,512,060	千円			
地方債現在高	120,966,596	千円			



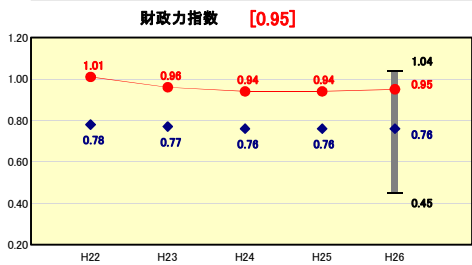
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

将来負担の状況



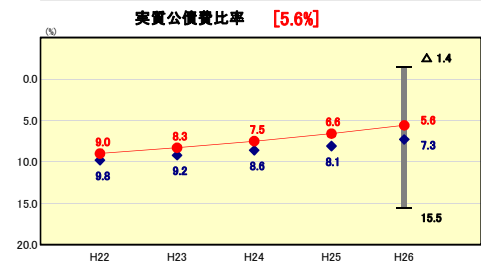
将来負担比率の分析概
 過去の大型建設事業債の償還終了により、市債現在高が減少したことや、退職手当支給対象人数の減により、退職手当負担見込額が減少したことから、前年度と比較して5.2ポイント低下した。
 今後とも、プライマリーバランスの黒字化を念頭に、元金償還額以内の市債発行を図ることで市債残高を抑制していくとともに、財政運営の長期的な安定性を確保するため、基金の涵養に努める。

財政力



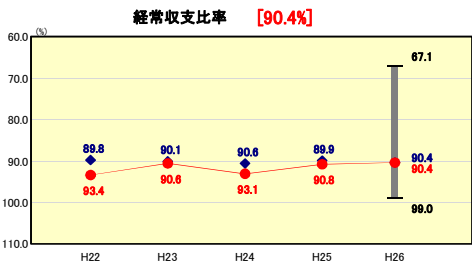
財政力指数の分析概
 財政力指数は、単年度及び3か年平均とも前年度より上昇した。これは、市町村民税(法人税割)や地方消費税交付金の増による「基準財政収入額」の増が、社会福祉費及び公債費等の増による「基準財政需要額」の増を上回ったことが要因である。
 今後とも、自主財源の積極的な確保や、資産管理の適正化など、中長期を見据えた「行財政改革」の徹底を図るとともに、常にコスト意識を持って効果的・効率的な事業の執行に努める。

公債費負担の状況



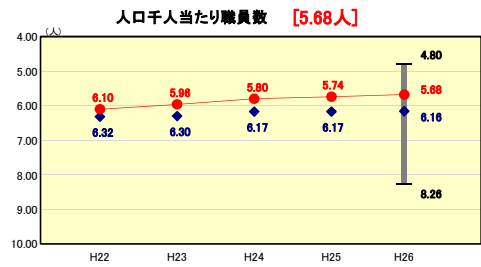
実質公債費比率の分析概
 実質公債費比率は、過去の大型建設事業に係る市債償還の完了により、元利償還金が減少したことや、地方消費税交付金の増及び市民税法人税割の増などにより、標準収入額が増加したことから、前年度と比較して1.0ポイント減少している。
 今後とも、公債費が将来の財政運営の大きな負担とならないよう、プライマリーバランスの黒字化を念頭に、元金償還額以内の市債発行を堅持することで、市債残高の抑制に努めていく。

財政構造の弾力性



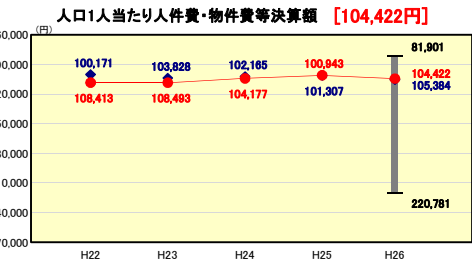
経常収支比率の分析概
 経常収支比率は、H25年度に引き続き改善し、類似団体平均と同値となった。これは、企業収益の拡大による市税収入の増に伴い、経常一般財源が増加したことが要因である。
 今後とも、自主財源の積極的な確保に努めるとともに、生活保護費等における就労支援の取組などにより経常経費を抑制し、財政構造の弾力性の向上に努めることにより、本市の中期財政計画上の目標である80%台への向上を図る。

定員管理の状況



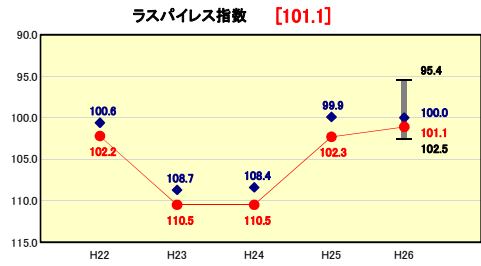
人口千人当たり職員数の分析概
 平成22年3月に策定した「組織整備・定員適正化に関する方針」に目標として掲げた平成27年度の職員3,300人体制に向け、定員の適正化に取り組んできた。
 平成26年度は平成25年度の5.74人に比べ0.06人少ない5.68人となっており、順調に定員の適正化が図られている。
 引き続き、外部委託の推進、再任用など多様な人材の活用、簡素で機動的な職制の整備などに取り組み、定員の適正化を進めていく。

人件費・物件費等の状況



人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析概
 国の要請等を踏まえた給与減額措置の終了による職員給与の増加などに伴う人件費の増や、水痘及び高齢者肺炎球菌予防接種の定期接種化などに伴う物件費の増により、前年度より増加した。
 引き続き、定員の適正化などにより人件費を抑制するとともに、内部努力の徹底等による経費の抑制を図り、事業の効率化を図っていく。

給与水準 (国との比較)



ラスパイレズ指数の分析概
 平成18年の年功的給与上昇の抑制等を目的とした給与制度改革の実施及び平成27年の地域間・世代間の給与配分の見直し等を柱とした給与制度の総合的見直しの実施など、給与制度の適正化に努めてきた。
 平成23~24年は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置により、指数が大きく上昇したが、平成25年は同措置の終了により指数が低減した。また、平成26年は、国との昇給期の相違により、給与制度の総合的見直しに伴う現給保障の水準が国を下回ることから、指数は101.1まで低減した。
 今後とも、国や県並びに他市の制度との均衡を踏まえながら、適正な給与制度の構築に努めていく。

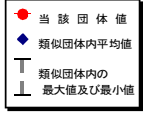
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

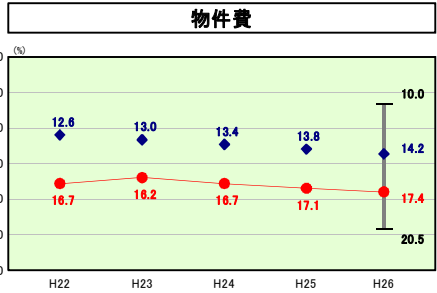
栃木県宇都宮市

経常収支比率の分析

人口	520,462人 (H27.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	512,963人 (H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	416.85 km ²	実質公債費比率	5.6 %
歳入総額	198,696,454千円	将来負担比率	4.5 %
歳出総額	192,436,840千円	市町村類型	H22 中核市 H23 中核市 H24 中核市 H25 中核市 H26 中核市
実質収支	4,495,753千円	(年度毎)	
標準財政規模	102,512,050千円		



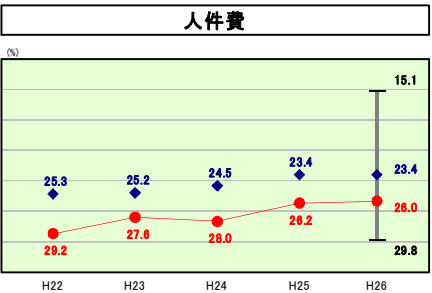
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



類似団体内順位 39/43 全国平均 14.3 栃木県平均 15.8

物件費の分析欄

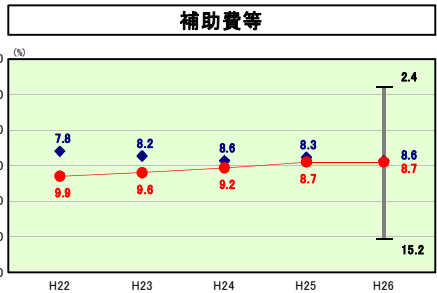
水痘及び高齢者肺炎球菌予防接種の定期接種化などに伴い、総額で前年度比12億円増の234億円となった。類似団体平均を上回っていることから、「第5次行政改革大綱」に基づく「行革プラン」により内部努力の徹底を図り、経費の縮減や事業の効率化を進めていく。



類似団体内順位 33/43 全国平均 23.8 栃木県平均 25.8

人件費の分析欄

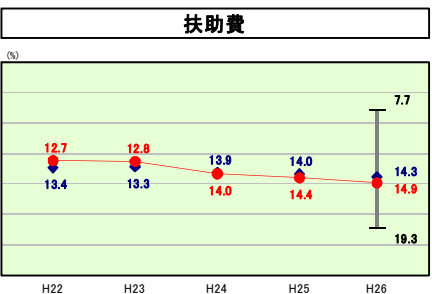
職員数や退職手当が減少したものの、国の要請等を踏まえた給与減額措置の終了による職員給与の増加などに伴い、総額で前年度比2億円増の304億円となった。類似団体平均を上回っていることから、組織機構のスリム化、定員の適正化などにより業務の効率化に取り組んでいく。



類似団体内順位 21/43 全国平均 10.1 栃木県平均 8.6

補助費等の分析欄

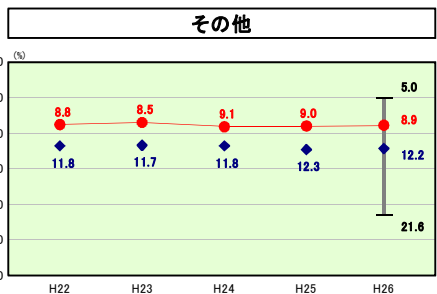
幼稚園就園奨励費補助金の制度拡充などに伴い、総額で前年度比4億円増の114億円となった。引き続き、補助交付金については、必要性や効果などを継続的に検証し、見直しを図っていく。



類似団体内順位 28/43 全国平均 11.7 栃木県平均 10.5

扶助費の分析欄

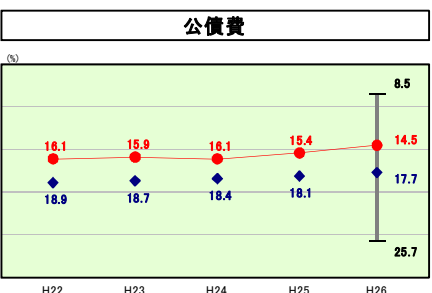
臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の支給や、入所児童数の増に伴う私立保育園費の増により、総額で前年度比26億円増の462億円となった。類似団体平均を上回っていることから、引き続き、生活保護費等における就労支援の取組などを実施し、社会保障関係経費の抑制に努めていく。



類似団体内順位 2/43 全国平均 13.2 栃木県平均 13.5

その他の分析欄

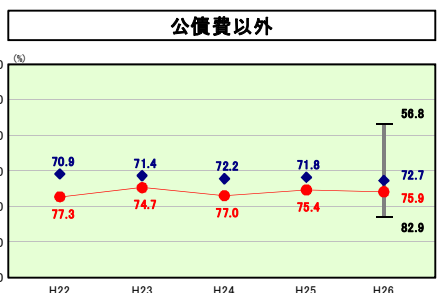
その他に係る経費については、維持補修費が総額で前年度比9000万円減の20億円、繰入金金が総額で前年度比6億円増の129億円となった。繰入金については、高齢化の進展から保険給付費等が増額になったことにより、介護保険特別会計への繰入金が増額となったことが要因である。類似団体の平均を下回っているが、引き続き、介護予防事業の取組みなどを実施し、給付費の抑制に努めていく。



類似団体内順位 7/43 全国平均 18.2 栃木県平均 15.7

公債費の分析欄

クリーンパーク茂原整備事業債(H25償還完了分)など、過去の大型建設事業に係る市債償還の完了や市債発行額の抑制に伴い、前年度比10億円減の159億円となり、過去5年間で最小の150億円台となった。引き続き、計画的な市債の発行などにより、公債費の抑制に努める。



類似団体内順位 32/43 全国平均 73.1 栃木県平均 74.2

公債費以外の分析欄

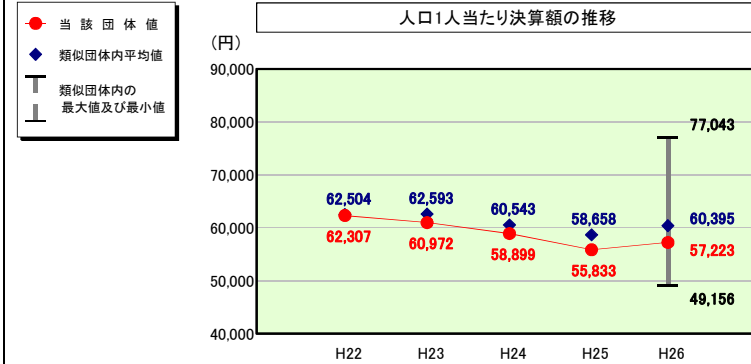
人件費及び物件費の影響により、類似団体の平均を上回っていることから、定員の適正化や内部努力の徹底を図り、経費の縮減や事業の効率化を進めていく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

栃木県宇都宮市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



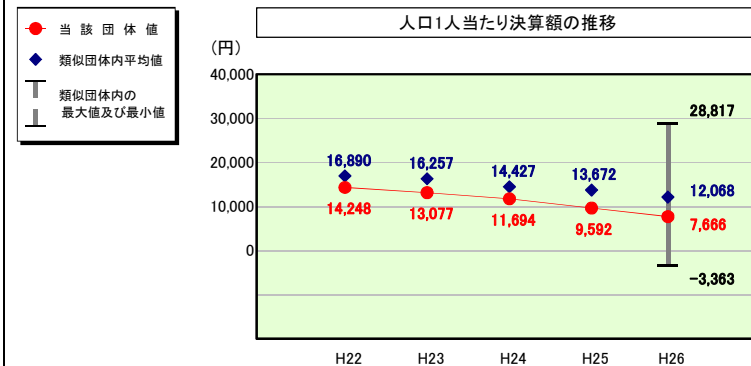
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	30,448,472	58,503	57,686	▲ 1.4
賃金(物件費)	213,216	410	2,413	▲ 83.0
一部事務組合負担金(補助費等)	46,778	90	1,538	▲ 94.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	680	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	10,612	20	20	0.0
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	626,759	1,204	1,736	▲ 30.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	932,431	1,792	1,344	▲ 33.3
▲退職金	▲ 2,495,623	▲ 4,795	▲ 5,023	▲ 4.5
合計	29,782,645	57,223	60,395	▲ 5.3

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	5.68	6.16	▲ 0.48
ラスパイレズ指数	101.1	100.0	1.1

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

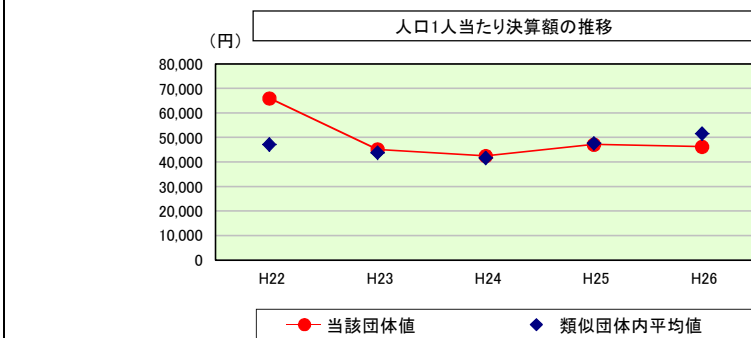


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	16,187,424	31,102	40,264	▲ 22.8
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	2	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	83,333	160	111	44.1
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	4,594,484	8,828	9,819	▲ 10.1
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	427	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	400,786	770	787	▲ 2.2
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	234	0	3	▲ 100.0
▲特定財源の額	▲ 4,079,110	▲ 7,837	▲ 8,225	▲ 4.7
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 13,197,401	▲ 25,357	▲ 31,118	▲ 18.5
合計	3,989,750	7,666	12,068	▲ 36.5

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

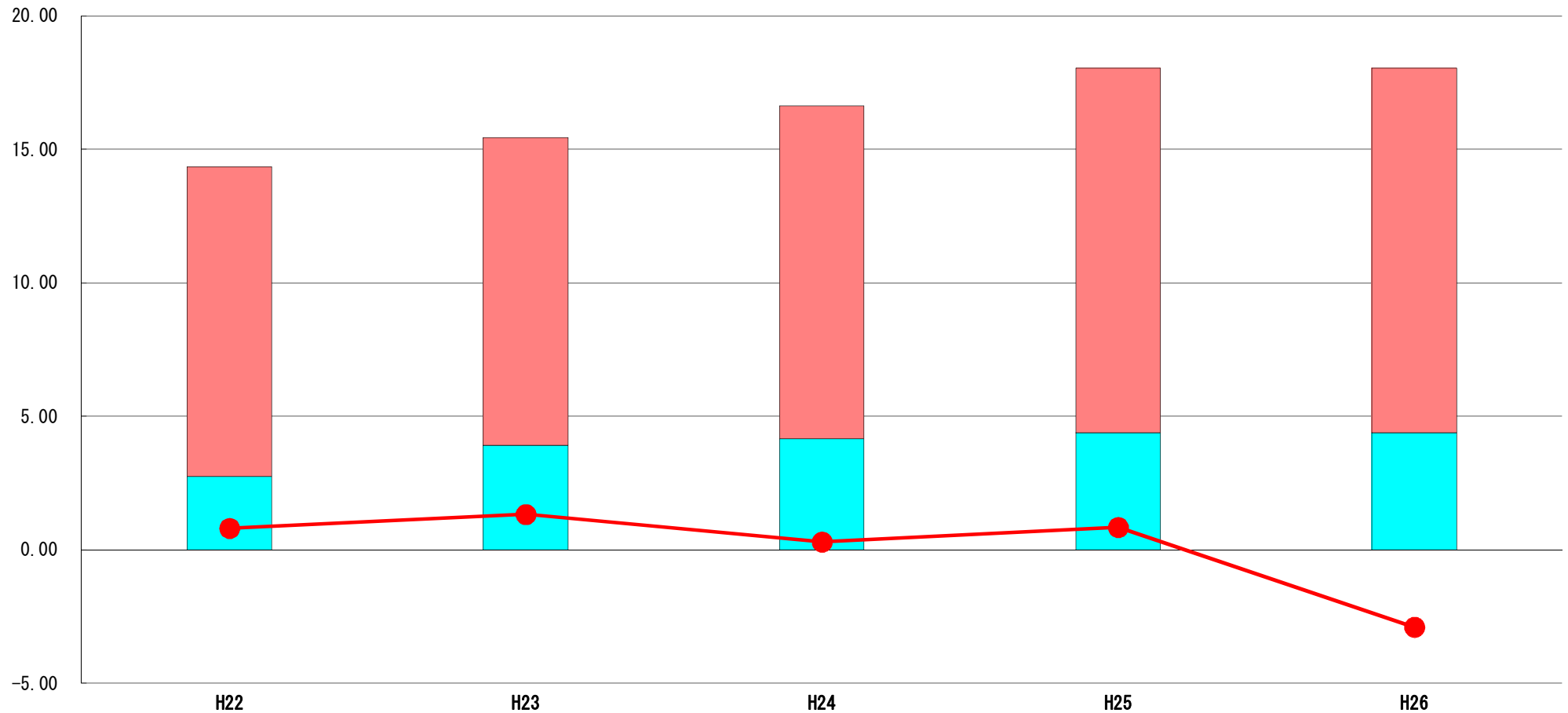
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H22	33,451,668	66,002	8.9	47,155	▲ 1.0	9.9
うち単独分	17,023,729	33,589	6.9	26,802	▲ 1.9	8.8
H23	22,971,711	45,163	▲ 31.6	43,858	▲ 7.0	▲ 24.6
うち単独分	13,291,159	26,131	▲ 22.2	23,714	▲ 11.5	▲ 10.7
H24	21,938,828	42,472	▲ 6.0	41,705	▲ 4.9	▲ 1.1
うち単独分	12,075,662	23,378	▲ 10.5	22,742	▲ 4.1	▲ 6.4
H25	24,459,214	47,139	11.0	47,677	14.3	▲ 3.3
うち単独分	10,684,705	20,592	▲ 11.9	23,360	2.7	▲ 14.6
H26	24,075,311	46,258	▲ 1.9	51,613	8.3	▲ 10.2
うち単独分	12,713,039	24,426	18.6	25,872	10.8	7.8
過去5年間平均	25,379,346	49,407	▲ 3.9	46,402	1.9	▲ 5.8
うち単独分	13,157,659	25,623	▲ 3.8	24,498	▲ 0.8	▲ 3.0

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成26年度

栃木県宇都宮市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H22	H23	H24	H25	H26
 財政調整基金残高		11.59	11.52	12.48	13.64	13.65
 実質収支額		2.75	3.91	4.15	4.39	4.39
 実質単年度収支		0.80	1.33	0.29	0.84	▲ 2.90

分析欄

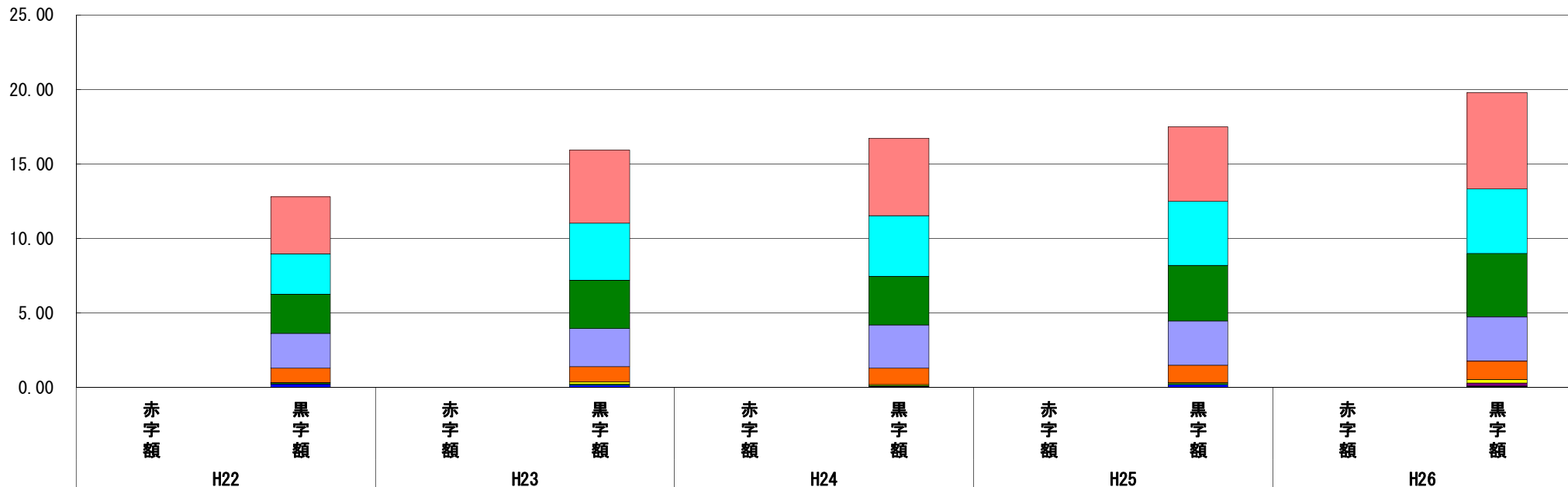
財政調整基金残高については、平成23年度以降は、市税の増収などに伴い、基金の涵養に努めてきたことから増加している。
 実質収支は、経験的に望ましいとされる3~5%の間にあり、引き続き収支のバランスが取れている状況である。
 実質単年度収支は、「積立金の取崩し額」に相当する金額（30億円）を、公共施設等整備基金へ積み立てており、実際は黒字となっている。
 今後も、分析結果を踏まえ、歳入の確保と経費の抑制に努め、財政の健全化に取り組んでいく。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成26年度

栃木県宇都宮市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H22	H23	H24	H25	H26
水道事業		3.82	4.91	5.21	5.00	6.49
一般会計		2.72	3.84	4.06	4.31	4.33
土地取得事業		2.62	3.23	3.27	3.72	4.25
下水道事業		2.34	2.56	2.89	3.00	2.99
中央卸売市場事業		0.97	1.05	1.09	1.14	1.22
競輪		0.04	0.11	0.07	0.09	0.22
国民健康保険		0.00	0.00	0.00	0.00	0.20
母子父子寡婦福祉資金貸付事業		0.06	0.07	0.08	0.07	0.04
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.21	0.16	0.05	0.17	0.06

分析欄

一般会計をはじめ、公営企業を含む特別会計すべてが黒字または収支均衡となっている。
 水道事業会計において、企業債の元利償還金の減少により流動資産が増加したことなどから、黒字額が増加した。また、土地取得事業特別会計において、販売用土地に係る市債残高が減少したことから、黒字額が増加した。

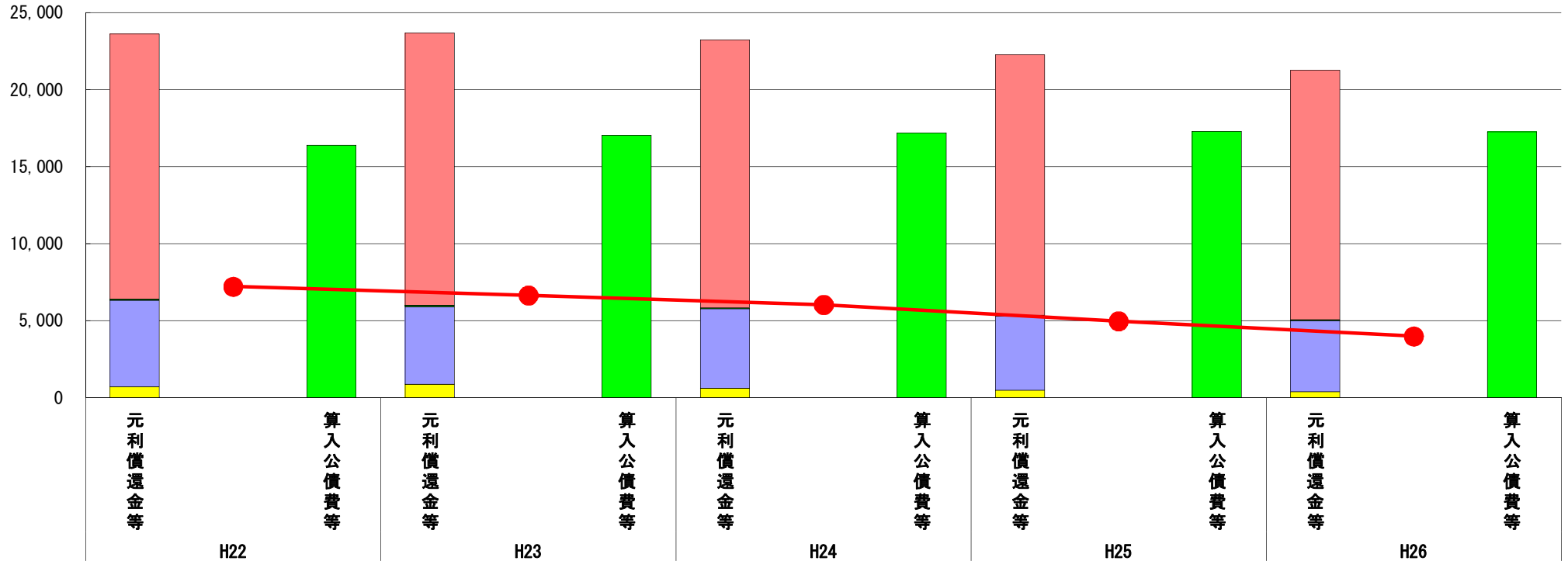
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

栃木県宇都宮市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等(A)	元利償還金		17,216	17,676	17,380	16,895	16,187
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		73	83	83	83	83
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		5,619	5,036	5,145	4,808	4,594
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		691	886	616	480	401
	一時借入金の利子		6	1	2	1	0
算入公債費等(B)	算入公債費等		16,385	17,031	17,187	17,290	17,276
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		7,220	6,651	6,039	4,977	3,989

分析欄

元利償還金について、クリーンパーク茂原整備事業債（H25償還完了分）及び、消防緊急通信指令システム整備事業債など、過去の大型建設事業に係る市債償還の完了に伴い、前年度より約7億円減少した。

公営企業債の元利償還金に対する繰入金は、下水道事業会計における分流式下水道に要する経費（污水公費）が減少したことなどから、前年度より約2億円減少した。

算入公債費等は、平成10年度の一般廃棄物処理事業債の償還終了に伴う元利償還金の減少により、基準財政需要額に算入された公債費が減少したことなどから、前年度より約1千万円減少した。

その結果、実質公債費比率の分子は前年度より約10億円減少している。

今後とも、公債費が将来の財政運営の大きな負担とならないよう、プライマリーバランスの黒字化を念頭に、元金償還額以内の市債発行を図ることで、市債残高の抑制に努める。

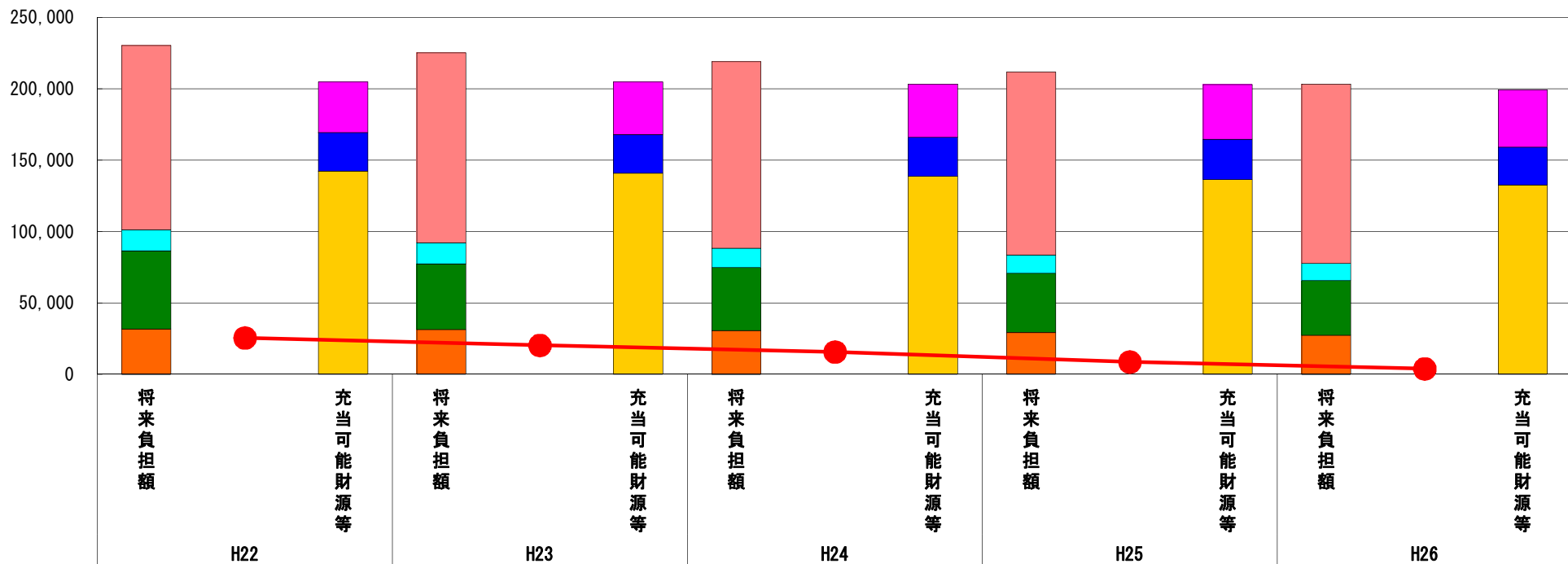
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

栃木県宇都宮市

(百万円)



分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		129,337	133,049	130,823	128,101	125,287
	債務負担行為に基づく支出予定額		14,541	14,568	13,567	12,901	12,115
	公営企業債等繰入見込額		54,576	46,180	43,937	41,557	38,601
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		31,772	31,327	30,708	29,256	27,157
	設立法人等の負債額等負担見込額		63	-	65	-	62
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		35,427	36,645	37,287	38,425	40,120
	充当可能特定歳入		27,010	27,131	27,524	28,028	26,562
	基準財政需要額算入見込額		142,260	140,941	138,597	136,630	132,483
(A) - (B)	将来負担比率の分子		25,591	20,407	15,693	8,733	4,058

分析欄

一般会計等に係る地方債残高は、クリーンパーク茂原整備事業債（H26償還完了分）及び、リサイクルプラザ整備事業債など過去の大型建設事業に係る市債償還の完了に伴い、前年度より約28億円減少した。

公営企業債等繰入見込額は、水道事業、下水道事業、中央卸売市場事業における公営企業債残高が減少したことにより、前年度より約29億円減少した。

また、退職手当支給対象人数の減により、退職手当負担見込額が減少したことなどから、「将来負担額」全体は、毎年減少している。

将来負担額に充当可能な財源である基金は、決算剰余金などを活用し、計画的に積み立てていることから増加している。

基準財政需要額算入見込額は、需要額の算定における流域下水道及び公共下水道事業などに係る地方債残高の減少により、算入見込額が減少した。

その結果、「充当可能財源等」全体は減少したが、「将来負担額」全体も減少したことから、差引きした額である将来負担比率の分子は減少している。

今後については、プライマリーバランスの黒字化を念頭に、元金償還額以内の市債発行を回すことで、市債残高を抑制していくことに加え、将来の行政需要や年度間の財政調整に的確に対応し、財政運営の長期的な安定性を確保するため、基金の涵養に努めていくことなどにより、将来負担を抑制し、財政の健全化に努めていく。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。